

平成 29 年（2017 年）の恵庭岳の火山活動

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○噴火警報・予報の状況、2017 年の発表履歴

2017 年中変更なし

噴火予報（活火山であることに留意）

○2017 年の活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図 1～2）

8 月 1 日に国土交通省北海道開発局の協力により上空からの観測を実施しました。山頂東側の爆裂火口内からは弱い白色噴気が認められました。これまでの観測結果と比較して、噴気の勢いや量などに変化はありませんでした。

赤外熱映像装置¹⁾による観測では、地表面温度分布の状況に特段の変化は認められませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。



図 1 恵庭岳 周辺図と赤外熱映像及び写真の撮影方向（矢印）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号 平 29 情複、第 958 号）。

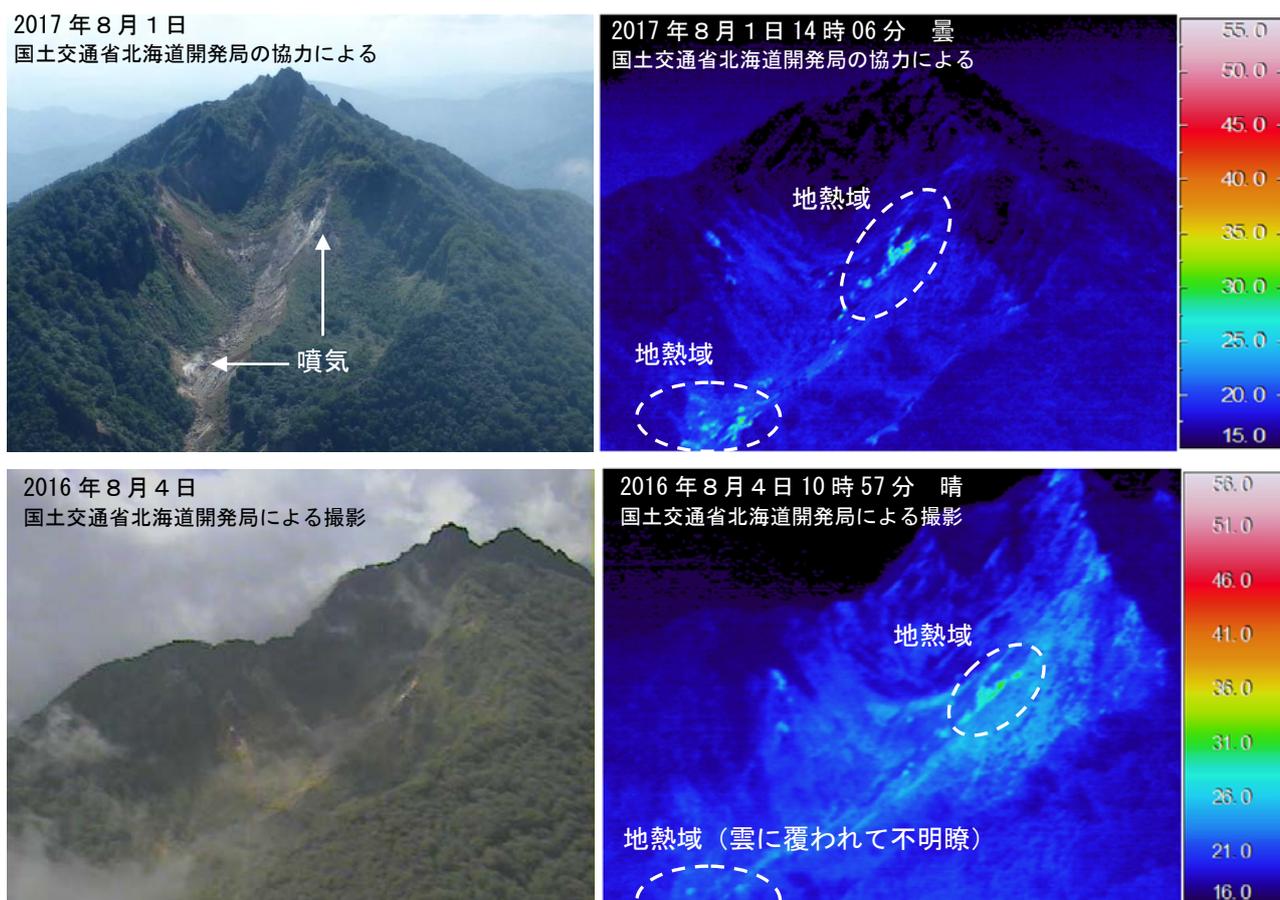


図 2 恵庭岳 赤外熱映像装置による恵庭岳山頂東側爆裂火口の地表面温度分布
 上図：北東側上空（図 1 の①）から撮影
 下図：北側上空（図 1 の②）から撮影
 ・噴気や地表面温度分布の状況に特段の変化は認められませんでした